

9800

極秘

横領機密第三五六〇號

昭和十八年九月十八日

十月二十日送付

特殊漁船八幡丸戰國詳報

廣須賀領守府

18.10.21
接受

目次

一 九月一日空襲迄ノ南島島附近ノ敵情

二 任務

三 経過

四 戦果及被害

五 功績

六 参考

イ 所見

ロ 船ノ要目

ハ 船員名簿

六枚

(目次終)

特殊漁船八幡丸戦闘詳報

一、九月一日空襲迄ノ南鳥島附近ノ敵情

八月二十七日一五一五南鳥島警備隊見張員敵潜水艦搭載機ノ飛行中
ヲ發見シ同隊ハ直ニ飛行機ヲ以テ索敵偵察セシモ敵潜水艦ヲ發見セ
ズ

之ニ依リ敵潜水艦ガ南鳥島ヲ偵察監視中ナルヲ察知セルモ右ノ外空
襲迄特異ノ點ヲ認メズ

二、任 務

軍務一機密第一〇二號ニ依ル特殊漁船第三十七次出動船トシテ八月
十二日横須賀發同月十七日指定哨漁區（B區）着爾後漁業ヲ兼テ海
上監視通信ニ從事中

三、經 過

（一）經過摘要

九月一日〇四五五（天候晴風波平穩）北緯二九度四〇分東經一五

四度二〇分ノ地點ニ於テ見張警戒ヲ嚴エシツツ操業中北東方向約一三〇〇米ニ單發一機ヲ發見(敵味方不明)セリ船長ハ船橋ニ在リテ直ニ全員戰鬪部署ニ就カシメ監視中敵機ハ本船上空(高度約三〇〇米)ニ來襲、船ニ回頭(此ノ時敵機ノ標識ヲ確認ス)シ船方向ヨリ急降下攻撃對勢ニ移ルヲ認メ吾ハ直ニ回避行動ヲ取り機銃及小銃ヲ以テ先制攻撃ヲ開始ス、敵機ハ機銃掃射ヲナシツツ急降下(高度約一〇〇米)船後方三十米ニ爆彈二個(五十呎程度)ヲ投下シ直ニ上昇高度約七〇〇米ニテ機銃掃射ヲシツツ次第ニ大圓ニ旋回シ南西ニ去レリ此ノ間交戰約三十分ナリ、爆彈ノ破片若干船内ニ飛散セルノミニテ船体人員共ニ異狀ナシ

(回) 合 戰 圖

別紙第一ノ通

(以) 渡 信 文

別紙第二ノ通

四 戦果及被害

(1) 戦果不明

(2) 被害

(1) 船体、兵器、機関異状ナシ

(2) 戦死傷者ナシ

五 功績

特記事項ナシ

六 参考

(1) 所見

ナシ

(2) 船ノ要目

農林省徴備船（横須賀鎮守府指揮下特殊漁船）木製一〇五噸

速力九節

搭載兵器

九九式七

七七機銃

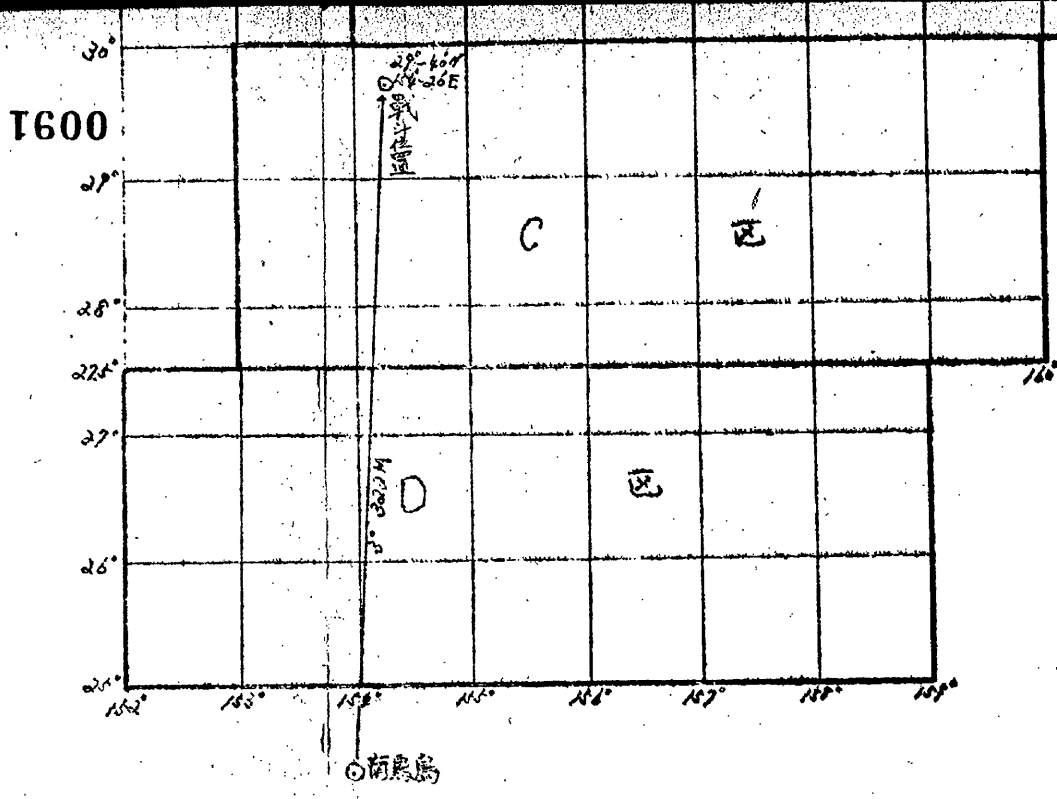
三挺

(3) 船員名簿

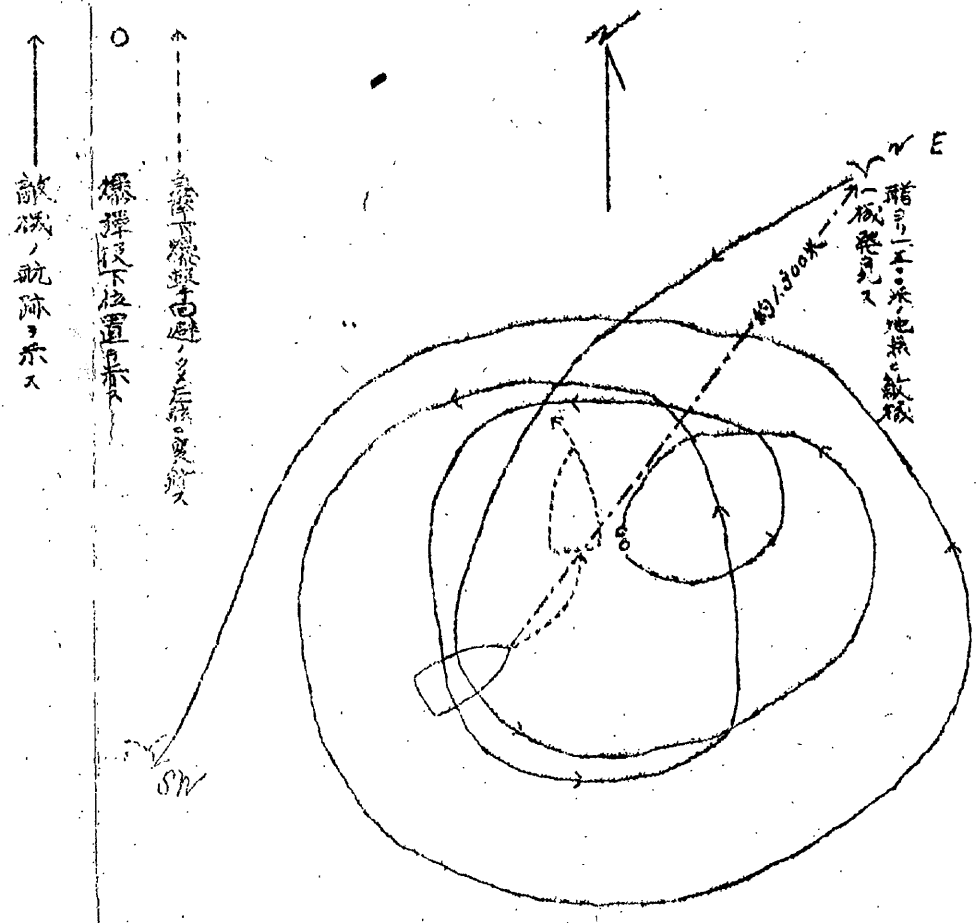
別紙第三ノ通

(終)

紙第一
合戦圖



(海軍軍令部調査)



別紙第二

<p>發 日 時 元</p>	<p>九月一日〇五〇二 八 幡 丸</p>	<p>九月一日〇五〇五 八 幡 丸</p>	<p>九月一日〇五一五 橫須賀鎮守府</p>
<p>受 日 時 (通報)</p>	<p>九月一日〇五一二 橫須賀鎮守府</p>	<p>九月一日〇五一三 橫須賀鎮守府</p>	<p>九月一日〇六五〇 第五萬丸、第五千代 振興丸、第八代 田丸、第八千代 十住丸、第二海 王丸、第十昌丸 船丸、第三明神 丸、第十丸 丸、勝丸、高宮丸 丸、全勝丸、小丸</p>
<p>通 信 文</p>	<p>「アメリカ」ノ飛行機見ユ</p>	<p>〇五〇〇東經一五四度二〇分北緯 二九度四〇分「アメリカ」飛行機 見ユ今交戦中</p>	<p>警戒手嚴ニセヨ 敵飛行機ノ後種ヲ知ラセ</p>
<p>種 別</p>	<p>無電</p>	<p>無電</p>	<p>無電</p>

<p>九月一日一一三〇 八 幡 丸</p>	<p>九月一日〇九三〇 八 幡 丸</p>	<p>九月一日〇七二五 横須賀鎮守府</p>
<p>九月一日一一四七 横須賀鎮守府</p>	<p>九月一日一〇二〇 横須賀鎮守府</p>	<p>九月一日〇九三〇 八 幡 丸</p>
<p>交戦状況至急知ラセ 先ノ飛行機ハ一ノースロップレラシ キモノナリ、尙附近監視スルモ敵機 ナシ ○四五五北東方面ニ一機ヲ発見敵機ハ低 リト認メ直ニ戦闘配備ニ就ク敵機ハ低 空ニテ本船ヲ爆弾及機銃ニテ射撃シ來 レリ、本船ハ直ニ小銃、機銃ニテ應戦 セリ、戦闘時間三十分爆弾二個本船ノ 右舷約三十米附近ニ投下シ若干ノ破片 損傷ヲ受ケルモ人員及船体支障ナシ</p>		
<p>無 電</p>	<p>無 電</p>	<p>無 電</p>

0094

0002

別紙第三

八幡丸船員名簿

同	同	同	同	同	同	同	甲板員	水夫長	運轉士	船長
高橋富藏	齊藤久一	齊藤熊五郎	齊藤喜久夫	齊藤仙之助	長島平八	齊藤貞藏	齊藤勇次郎	齊藤豊助	長嶋小市	齊藤與市
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	甲板員
高橋六	齊藤忠兵衛	齊藤虎雄	齊藤京助	山田新作	齊藤源之丞	山田菊太郎	高橋伯夷	齊藤權次郎	高橋武七	稻葉易

S600

機 關 長	同	同	同	同	同	甲 板 員
齊 藤 正 治 郎	齊 藤 邦 三 郎	稻 持 常 男	齊 藤 節 太 郎	齊 藤 德 治	渡 邊 桂 作	高 橋 恒 治
通 信 士	同	同	同	同	機 關 員	機 關 士
長 嶋 源 一	高 橋 清	松 本 信 雄	齊 藤 隆 一	齊 藤 傳 吉	稻 持 善 作	齊 藤 春 吉

(終)

軍務一機密第一〇二號

昭和十七年二月十二日

海軍省軍務局長

大本營海軍參謀部第一部長

第五艦隊	第四艦隊	聯合艦隊	聯軍	須賀	鎮守府	參謀長
殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿

短波無線電信機ヲ有スル鯨鮪漁船ヲ
漁務ヲ兼テ監視任務ニ充當ノ件申進

首題ノ件別紙ニ依リ實施ノコトニ定メラレタルニ付關係事項ハ左記ニ
基キ處理相成度

記

一、續須賀鎮守府ハ本任務ニ充當スベキ漁船ニ對スル全般的指導統制ニ

任シ出勤漁船ニ對シ所要ノ指示ヲ與フルト共ニ關係事項ヲ第四、第五艦隊ニ通報ス

二、第四、第五艦隊ハ漁船ノ監視任務ニ關シ必要アル事項ニ就キ續須賀領守府ニ協議ノ上極力之ガ利用ヲ圖ル

(別紙添)

(終)

別紙

本州東方太平洋上ニ配備スベキ特設監視艇ニ關シ第五艦隊ハ最小限一
二〇隻ヲ必要トスル旨要求シアル處既ニ漁船徵備餘力ナキ現狀ニ鑑ミ
此ノ方面ニ九〇隻ヲ配當スルコトニ定メラレタリ

右特設監視艇ノ補助トシテ太平洋方面ニ出漁スル鯉船中短波無線電
信機ヲ有スルモノ二十九隻ハ概ネ東經一六〇度線附近ニ出漁スルニ對
シ海軍ヨリ燃料ヲ支給シテ其ノ行動ヲ規正シ洋上監視力ヲ増強スルト
共ニ兼テ水産食糧増産ニ寄與スルヲ適當ト認メ左ニ依リ實施ス

一、交付スベキ燃料

重油年額四、〇〇〇屯以内

差當り第一回四半期分トシテ一、〇〇〇屯以内ヲ交付シ其ノ成果ニ
應ジ爾後ノ交付額等ヲ決定スルコトトス

(說明)

使用船二十九隻ノ一年間所要燃料約五、〇〇〇屯中配給燃料一、

〇〇〇屯ヲ控除セル類ヲ海軍ヨリ交付スルコトトス

二 配備地點

北緯三五度東經一六〇度ノ點ヨリ南鳥島ニ至ル間（約六〇〇哩長）
ヲ四等分シ北方ヨリA B C D哨漁區トシ各區ニ概ネ三隻宛在ラシム
ル如クス

三 出動基地

石ノ巻、三崎、清水

四 行動要領

使用船ヲ三組ニ分チ十日間隔ヲ以テ出動セシメ指定配備點ニ至リ約
一月後（概ネ漁獲物滿船スルモノト豫想ス）基地ニ歸着スルモノト
シ此ノ間適宜正午位置ヲ關係海軍部隊ニ電報セシム
敵艦敵機ヲ發見セバ船舶防空監視心得ニ依リ發電セシム

五 監視員

船長及所要船員ヲ以テ編成シ之等人員ニ對シ操ノ講習ヲ實施スルト

共ニ艦型圖、飛行機略圖ヲ交付ス

右講習ノ成果ニ依リテハ各船ニ下士官兵一名宛乗船セシムルコトアルベシ

監視員一名ハ漁撈中ト雖モ當時見張ニ専念セシム

六、漁獲物ノ處理

農林省ニ一任スルモ海軍ノ必要量ハ優先取得ス（増産豫想高額約三〇〇萬貫）

（終）